

11/8 月 35

コロナ経済対策 30兆円超で検討

18歳以下に10万円給付 盛る

18歳以下に10万円給付 盛る
政府、与党が新型コロナウイルス禍に対応した経済対策の財政支出を二十兆円超とする方向で検討していることが分かった。二〇二〇年度予算の繰越金の一部は備金である新規国債の発行で賄う。十八歳以下の子どもへの十万円給付や観光支援事業「Go To トラベル」再開、介護職や保育士への賃上げなども検討される。
や決算剰余金を使い、残り

育士 看護師らの処遇改善

- ④ 財政支出は30兆円超とする方向で検討
18歳以下の子どもへの10万円給付、
観光支援事業「G o T o トラベル」
再開、介護職や保育士、看護師らの
待遇改善などを盛り込む
 - ⑤ 2020年度予算の繰越金や決算剩余金
を活用
 - ⑥ 対策の裏付けとなる21年度補正予算
は年内に成立
 - ⑦ 対策の一部は22年度当初予算に計上

などを盛り込み、十九日に
も決定する。

などを盛り込み、十九日に
も決定する。

る方向で調整している。

七

岸田文雄首相は経済対策の規模を「数十兆円」として、政府は対策の決定を行った。政府は対策の決定後、早期に裏付けとなる二

木俊一 財務相らと公邸でく
談し、経済対策や予算編成
の日程などについて意見交
換した。

文成五

「〇〇年度の繰越金は二兆円超あつた。」のつづきで、OTO関連や企業の資金繰り支援といった繰越金の一部を経済対策に活用する見通しだ。四兆五千億円ある二〇〇〇年度の決算剰余金も用いる。

焦点の子ともへの給付を巡っては、自民、公明両党の幹事長が八日に協議して具体的な制度を詰める予定だ。公明は十八歳以下に一律十万円の現金給付を主張しているが、富裕層の子どもにも支給される」といふため、政府内には所得制限を求める意見がある。